



教育目標		学ぶ チャレンジ 夢実現
本年度の重点目標		1 学習指導の強化…基礎基本の定着、学び直しの支援 2 生徒指導の充実…規律ある生活、基本的生活習慣の確立 3 進路指導の改善…進路目標の明確化と職業観・勤労観の育成

達成度
A ほぼ達成 (8割以上)
B 概ね達成 (6割以上)
C 変化の兆し (3割以上)
D 不十分 (3割未満)

学 校 自 己 評 価							
現状と学校評価実施計画				達成状況と改善策			
No	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の 評価指標	方策の達成状況	達成 度	次年度への 課題と改善策
1	【学習指導】 ・不登校や学習時間の不足から、小・中学校の学習内容が定着していない生徒が多く見られる。 ・学ぶことへの意欲が低い生徒がいる。 ・非常勤講師を除き、各教科1名の体制であるため、教員同士で切磋琢磨する場面が少ない。	(1) 教員の授業力の向上	①公開授業を実施し、他者からの授業改善の意見を取り入れ、総合教育センターの専門研修に参加したりすることにより授業力の向上を図る。 ②授業評価を組織的に実施し結果を踏まえ改善を図る。	・生徒、保護者アンケートにおける学習に関する項目の肯定的な意見の割合 (昨年度比) ・改善を図った項目数	・生徒のアンケートにおける肯定的な意見の割合は77.6% (昨年度72.7%)、保護者は100% (84.6%)であった。 ・全ての教科で授業評価を実施し、改善を図ることができた。	A	・学力を伸ばしたい生徒の割合が減っている。今後導入されるICT機器の利活用について研究を行い、生徒の学習意欲を喚起し、学力向上につなげたい。
		(2) 基礎学力の定着	①漢字テストとマイスタディの事前・事後指導の毎回実施と時間ごとに小テストを実施し、返却時に担当教科で事後指導を行い、基礎学力の定着を図る。	・小テストの実施状況 ・事後指導の実施状況 ・生徒アンケートにおける学力向上に関する項目の肯定的な意見の割合	・毎時間の小テストと生徒の実態に応じた事前事後指導を行った。 ・生徒のアンケートにおける肯定的な意見の割合は80.0%であった。	B	・マイスタディを肯定的に捉えている生徒の割合が増加している。引き続き実施し、基礎学力の定着につなげたい。
2	【生徒指導】 ・長期欠席、不登校、ひきこもりなどの経験者が多く、様々な生活経験・体験が乏しい。 ・失敗することを嫌い、行動しない選択をとりたがる。 ・自ら考え行動するのでなく、指示されることを待つ事が多い。	(1) 規範意識の向上	①生徒理解を推進するため、生徒への声かけをする。 ②生徒並びに保護者へ寄り添い、報告・連絡・相談を徹底する。	・年に2回の面接週間による生徒理解の状況 ・教育相談の充実による共通理解の状況	・面接週間以外にも適宜面等を行い生徒理解に努めた。 ・S・Cにつなげた生徒数は9名。	A	・生徒理解に努めた結果、落ち着いた学校生活を送っている生徒がほとんどであるが、課題のある生徒に対しては丁寧な指導を続けたい。
		(2) 基本的生活習慣の確立	①皆勤を目指すはたらきかけを実施する。 ②保護者及び生徒から担任等への連絡を徹底させる。	・欠席・遅刻・早退数の減少 (昨年度比) ・きめ細かな双方向の連絡の実施状況	・1月末までの出席率は80.8% (昨年年間77.8%) ・欠席や早退時の保護者への連絡を徹底できた。	B	・保護者との連携により不登校生徒の数も減少している。引き続き基本的生活習慣が確立できるよう指導する。
3	【進路指導】 ・職業観・勤労観が未熟な生徒が多い。 ・自己理解の不足等により、進路目標を明確に出来ない生徒が多い。	(1) 職業観の育成・進路意識の高揚	①行事内容を検討・改善し、職業観の育成、進路意識の高揚を図る。 ②勤務先調査を実施するとともに、昼間の時間を効果的に活用するよう働きかけ、働くことの意味を考えさせる。	・生徒、保護者アンケートにおける進路に関する項目の結果 ・勤務先調査の結果で就労率75%以上 ・職業観に関する生徒アンケート結果	・アンケートにおける肯定的な意見の割合は、生徒72.0%、保護者100%。 ・9月の勤務先調査の結果、就労率は50.0%。 ・生徒アンケートの該当項目において、肯定的な意見の割合は92.0%。	A	・今年度は感染症防止のため例年のように行事を実施することができなかった。アンケートにおいて、進路に関する項目は良好であるので、引き続き職業観の育成に努めたい。
		(2) 自己理解の深化	①LHRや総合的な探求の時間等における取組や適性検査の結果の面談等へ効果的活用を図る。	・職業観に関する生徒アンケート結果 ・進路希望調査における未定者の減少	・進路希望調査における希望職種未定者は11名。	B	・引き続き様々な教育場でキャリア教育を実践していく。

学校関係者評価
実施日 令和3年2月18日
学校関係者からの 評価・意見等
・この地域に多様な生徒を受け入れてもらえる定時制課程が存在していることは貴重なことである。これからも生徒の実態に即した指導を継続してほしい。 ・学習活動等で取り組んでいることを積極的に発信し、中学校や地域への周知に努める。 ・ほめられる体験等を重ねること等により生徒の自己肯定感を高める工夫をする。 ・教員と生徒とのアンケートの結果におけるギャップを埋める努力を。 ・地域に根ざした取組をしてはどうか。 ・これから必要になると思われるオンライン学習に積極的に取り組む。

